

明石市、中学給食を無償化

来年4月から全13校で

兵庫県明石市は、来年4月から中学校の給食を保護者の所得に関係なく完全無償化する方針を決めた。10月に始まる国の幼児教育・保育の無償化で市の財政負担が減るため、浮いた財源の一部をあてる。中学校給食の完全無償化は同市のよくな中核市では例がない。

明石市は2018年度に全13中学校で給食を導入。生徒側は年間約5万4千円の給食費を負担している。経済的に困窮する家庭にはすでに補助があるが、完全無償化で市は新たに約3億5千万円を負担することになる。同市は第2子以降の保育料を無償にしているが国の無償化で市の財政負担が年間約7億5千万円浮くため、一部を給食無償化にあてる。2020年度当初予算案に盛り込む方針だ。

今回は、高校受験や部活など保護者の経済的負担が大きい中学生を優先したが、今後、乳幼児や小学生にも広げられることを検討するという。泉房穂市長は取材に「家庭の経済力に関わらず安心して学べる環境を整備するのは行政の務めだ」と話した。

文部科学省の給食無償化に関する2017年度の調査では、小中学校とも無償は全国で76市町村、小学校のみは4市町村、中学校のみは2町で、人口規模の小さな自治体を中心だ。

(中塚久美子)